

本日11月4日(火)よりチケット発売開始

2025年夏、東京タワーで大好評の中終了した、
VRホラーアトラクション『戦慄迷宮：迷』が

2025年11月28日(金)から、石川県金沢市
クラソ・プレイス香林坊にて開催決定！

“戦慄”を金沢で体感せよ！



株式会社テレビ金沢（石川県金沢市 代表取締役社長 原田康久）は株式会社電通（東京都港区 代表取締役執行役員 佐野傑）、株式会社ABAL（東京都目黒区 代表取締役・CEO 尾小山良哉）と共に、11月28日（金）からクラソ・プレイス香林坊（石川県金沢市香林坊2-1-1）3Fで、XR（拡張現実）技術を用いたVRホラーアトラクション『戦慄迷宮：迷』を開催いたします。

『戦慄迷宮：迷』は、富士急行株式会社（山梨県富士吉田市 代表取締役社長 堀内光一郎）とタッグを組み、富士急ハイランドが運営するホラー施設「戦慄迷宮」を原案としたホラーVRアトラクションで、今夏、東京タワーで開催され、44日間で2万人以上が来場し大好評の中、終了しました。

チケットの販売は11月4日(火)より公式HPにて（<https://kanazawa.senritsuxr.abal.jp/>）開始いたします。

◆ 『戦慄迷宮：迷』について ◆

富士急ハイランドにある日本屈指のホラーアトラクション「戦慄迷宮」は、全長900m、所要時間約50分というスケールで、2003年の開業以来、530万人もの入館者たちを恐怖のどん底に陥れてきました。

このアトラクションのストーリーを受け継いだのが、『戦慄迷宮：迷』です。富士急ハイランドの「戦慄迷宮～闇に蠢く病棟～」のストーリーと世界観をベースに、「戦慄迷宮の“裏側”と“もうひとつの物語”」を描いた完全オリジナルストーリーを展開し、舞台は、**8フロア・全長1kmにおよぶバーチャル迷宮**になっています。



VRならではの空間演出によって、さらなる“恐怖”と“謎”を拡張した新たなホラー体験を提供します。

『戦慄迷宮：迷』は、ABAL独自の特許を取得した空間拡張技術※1で、現実よりも拡張されたバーチャル空間をユーザーが自由に動き回るロケーションベースXRのプラットフォームであるScape®※2により開発されました。

※1 Scape® 公式ウェブサイト <https://scape01.abal.jp/lp/scape-lp/>

※2 株式会社ABAL 公式ウェブサイト「保有特許について」 <https://www.abal.jp/business/technology>

『戦慄迷宮：迷』ストーリー

▼これまでのストーリー

2025年春、東京タワーでVRアトラクションの設営中にスタッフが失踪。現場に残されたVRゴーグルを起動すると、映し出されたのは「戦慄迷宮」だった。超常現象の調査と対応を専門とする民間企業「(有)怪異対策機構(通称：カイトイ)」が調査に乗り出すこの事件は「戦慄迷宮：迷」事案と名付けられ、今なお進行中。あなたも調査に参加し、その真相を確かめてほしい。迷宮の扉は、もう開かれている一。

▼今後のストーリー

2025年夏、超自然的な事件を扱う民間機関「(有)怪異対策機構」が行った東京タワーVRアトラクションの戦慄迷宮化に関する調査は、2万人を超える一般調査員の協力によって多数の怪異目撃情報を得ることができた。しかし、その成果も虚しく謎の解明には至ることはなかった。そんな中、全国各地で同じく戦慄迷宮化したVRゴーグルが次々と発見される。消えた霊媒師の言葉通りとなり拡大する戦慄迷宮化。日本全国で再び大規模な調査が始まる・・・

◆ 有限会社 怪異対策機構とは ◆

1932年に設立された民間調査企業 通称「カイトイ」。

当機構では調査現場での観測・記録を担う“外部調査員”を広く一般より募集し、必要な知識と装備を提供したうえで、現地への派遣を行っている。

(<https://www.kaitai.abal.jp/>)



怪異対策機構

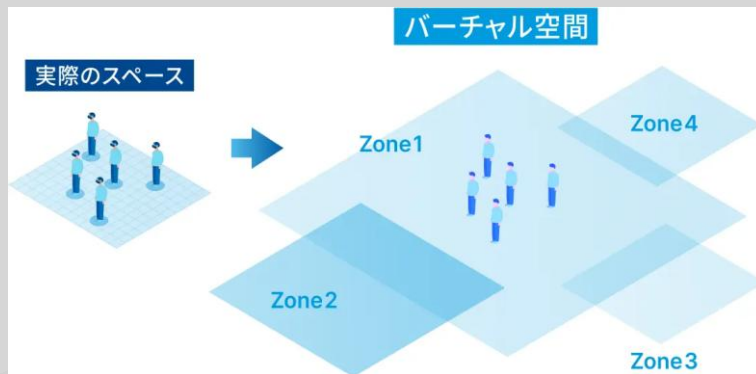
特許技術による“現実を超えた迷宮体験”

ABAL独自のXRエンターテインメントプラットフォーム「Scape®」を採用し、限られた物理空間を8フロア・全長約1 kmにおよぶ仮想迷宮へと拡張し、複雑に入り組んだ構造、どこまでも続く終わりの見えない通路、“何か”が潜む不気味な病棟など、現実では再現不可能な“出口のない恐怖”を体験できます。

また、同時に最大50人がアバターとして参加でき、リアルタイムで恐怖を共有することができます。

「Scape®」は、ABALが開発したXRプラットフォームで、複数の体験アプリケーション、運営システム、ユーザー管理機能が連動したインフラ設計を特徴としています。大規模運営を少人数で可能にし、ロケーションベースXRの可能性を広げる注目の技術です。

また今回、東京都「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業 (Tokyo NEXT 5G Boosters Project)」に採択された(株)キャンパスクリエイトの支援を受けて開発致しました。



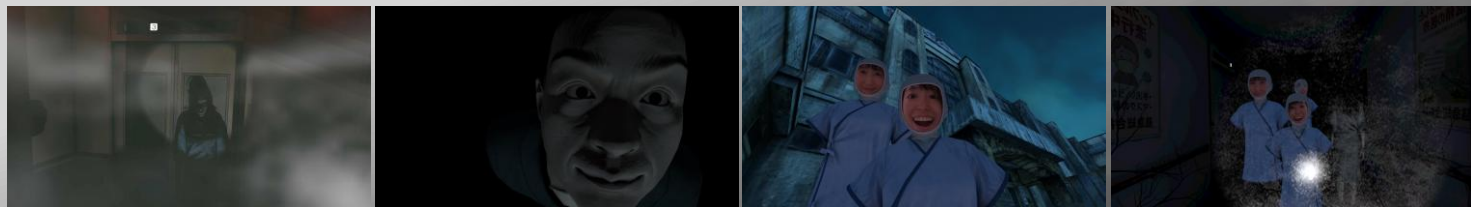
図：ABALが特許を保有する空間拡張技術のイメージ

VR内の撮影体験

東京タワーでは、VR内の写真撮影枚数 約150万枚の撮影！

XR空間内でのセルフイーや記念撮影も可能で撮影画像はスマートフォンに保存しSNSでの発信も可能。

体験前に受付にて自身のアバターを作成、そのアバターのセルフイー、アウトカメラ機能によるVR空間の撮影が可能になります。体験後にSNSでのご自身の恐怖体験を各SNSで発信することができます。



『戦慄迷宮：迷』開催情報

開催日時	2025年11月28日（金）～ 2026年3月1日（日） 営業時間 15:00～20:30(平日)、10:00～20:30(土日祝)
開催場所	クラソ・プレイス香林坊（石川県金沢市香林坊2-1-1 3F）
チケットサイト	https://kanazawa.senritsuxr.abal.jp/ チケットをご購入いただいた方のみ体験可能になります。
料金（税込）	平日：大人 2,750円、18歳以下 2,200円 土日祝：大人 3,300円、18歳以下 2,750円
対応言語	日本語・英語
所要時間	30分程度
クレジット表記	主催：戦慄迷宮：迷 金沢実行委員会 原案：富士急ハイランド（戦慄迷宮） 製作：ABAL 協力：戦慄迷宮：迷 展開委員会

参加対象

- ✓ 体調に不調のない方
- ✓ 自立歩行が可能な方
- ✓ 身長110cm以上の方
- ✓ 7歳以上の方

7歳以上13歳未満のお客様が体験する場合

参加には、110cm以上であることが条件になります。
また、保護者の同意及び保護者1名の付き添いがある場合に限りご参加可能になります。
事前に利用規約をご覧ください、ご参加いただく際にはそれに同意したとさせていただきます。

NG

- ✓ 心臓が弱い方などはお控え下さい
- ✓ 安全のため、動きやすい履物でご利用ください



サンダルやミュールなど、つま先やかかところが露出した靴、かかと部分の高さが5cm以上の靴はお控えください。このような靴でご来場いただいた場合、こちらで用意している靴に履き替えていただく可能性がございます。

【取り扱い注意】

情報解禁は11月4日（火）12時となります。それ以前の公開はお控えください。
情報は変更になる場合がございます。

11月27日(木)にメディア体験会を予定しています。
詳細が決まり次第、改めてリリースさせていただきます。

◆本イベントに関するお問い合わせ

テレビ金沢営業部 TEL：076-240-9013 MAIL：ktkeigyou@tvkanazawa.co.jp